

土壌再調査の結果 (4月12日福島県発表)

単位：ベクレル/kg

調査地点	区分	セシウム134	セシウム137	計
長屋	水田	2,197	2,274	4,471
稲沢	水田	1,424	1,561	2,985
本宮	水田	1,261	1,393	2,654
青田	水田	513	507	1,020
仁井田	水田	1,325	1,546	2,871
糠沢	水田	1,068	1,149	2,217

土壌の放射性セシウムが玄米に移行するのは10パーセントとされ、食品衛生法上の暫定基準値500ベクレル以下となるよう、水田の土壌基準は5000ベクレルとなっています。

稲の作付け可 農作業を進めてください!!

福島県が行った土壌分析の再調査の結果、国の定めた水田の土壌基準5000ベクレル/kgを下回ったことから、作付けができることになりました。土壌分析の再検査の結果は次のとおりとなっています。

4月6日に公表された第1回目の調査結果では、市内2カ所の数値が高かったことから、農家の皆さんに農作業の延期をお願いしていました。調査地点を増やした今回の調査結果では、全ての調査地点で水田の土壌基準5000ベクレルを下回りました。

なお、稲の収穫後には米の分析が行われ、食品衛生法上の暫定基準値500ベクレルを超える場合は、出荷制限を受ける事になります。国は作付け制限や出荷制限を受けた場合は、適切な補償を行うことに万全を期すと表明しています。

市としても、今後販売への影響が懸念されることから、安達地方市町村会やJAみちのく安達など関係機関と一体になって、国や県に適切かつ確実な対応を求めていきます。

安全、安心です もとみやの水道水

福島県が調査している水道水モニタリングの結果は次のとおりです。

なお、4月7日までの水道水の取水場所は、河川水を原水とする表流水を取水している立石山浄水場の水道の末端を対象として行われていましたが、4月4日に厚生労働省が発表した「今後の水道水中の放射性物質のモニタリング方針」に基づき、4月9日からは市内各浄水場の水を検査することに変更となりました。

水道水の調査結果では、4月5日以降は、水道水から放射性物質は検出されず、安心して飲むことができますのでお知らせします。

なお、今後も引き続き調査が行われ、立石山浄水場が2日に1回、小山、東禅寺、平田石の各浄水場は6日に1回の割合で検査となります。

【指標に基づく飲料水の基準】

放射性ヨウ素は300ベクレル/kg（乳児は100ベクレル/kg）、放射性セシウムは200ベクレル/kg

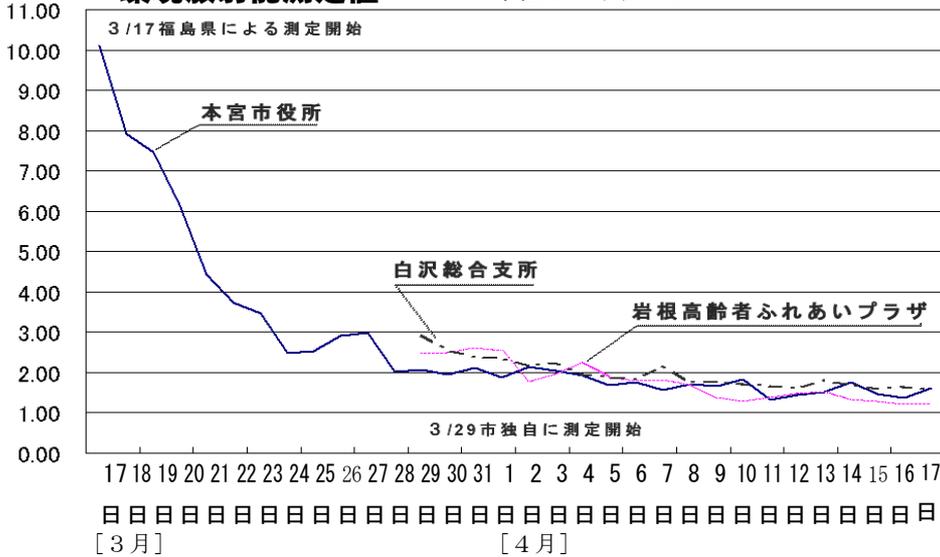
採取日	採取場所			
	もとみやクリーンセンター		南消防署	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム
3月21日	21	検出されず	50	8.9
3月29日	7.2	検出されず	12.0	検出されず
4月1日	6.9	検出されず	検出されず	検出されず
4月5日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
4月7日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず

採取日	採取場所							
	立石山浄水場		小山浄水場		東禅寺浄水場		平田石浄水場	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム
4月9日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	—	—	—	—
4月11日	検出されず	検出されず	—	—	検出されず	検出されず	—	—
4月13日	検出されず	検出されず	—	—	—	—	検出されず	検出されず
4月15日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず				

「各浄水場の給水区域」▽立石山浄水場：本宮地区（旧町内、青田、荒井、仁井田、高木、岩根みずきが丘）▽小山浄水場：みずきが丘を除く岩根地区、関下地区▽東禅寺浄水場：白沢地区（糠沢、和田の一部）▽平田石浄水場：白沢地区（白岩、長屋、稲沢、松沢、和田の一部）

環境放射能測定値

単位：マイクロシーベルト/h



微減傾向で推移 市内の環境放射能

福島県は3月17日から本宮市役所における環境放射能の測定を開始、3月29日からは本宮市独自に測定器を調達し測定を開始しました。

この測定の結果、本宮市役所では、福島県が調査を開始した3月17日の10・01マイクロシーベルト/hから、3月29日の10・01マイクロシーベルト/hまで、約半減したことがわかりました。

ロシヤは徐々には下がりはじめ、4月2日以降は、2・15から1・38マイクロシーベルト/hまでの間で微増・微減を繰り返しています。

また4月17日現在、市独自に調査している市西部の岩根高齢者ふれあいプラザは1・24マイクロシーベルト/h、市東部の白沢総合支所は1・59マイクロシーベルト/hから減少傾向であることがわかります。

これらの数値は健康に影響のない範囲と言われておりますが、教育委員会では念のため、中学生以下の子どもに對して外出時のマスク着用、指導と屋外活動の自粛を行っています。

環境放射能については、今後も測定を継続し、防災無線や市のホームページで公表する適切な対応を図ります。

今後、市民の皆さまの冷静な対応とご理解を協力をお願いいたします。

原乳の出荷制限解除

3回連続で規制値を下回る

3月21日から出荷制限を受けていた福島県原乳については、4月16日付けで本宮市を含む25市町村の指定が解除されました。

これは、県が調査した3月29日、4月7日、4月12日に採取された原乳が、いずれも1000ベクレル/kgを下回ったことから解除されたもので、相双地区など13市町村を除き福島県の出荷制限が解除され、市内10戸の酪農家も出荷制限が解除されました。

本宮第二中学校 仮校舎で授業再開

地震により校舎が半倒壊となつた本宮第二中学校は、4月6日から荒井地区公民館を仮校舎として授業を再開しました。

全校生264人、10クラスで授業を受けるため、1年生と2年生は体育館を7つに仕切られた特設教室で、3年生は軽運動場を2つの教室に仕切られた特設教室や和室での授業となっております。

また、仮設のトイレや手洗い場なども整備されました。

4月28日本宮市 ホームページリニューアル

現在ご利用いただいている本宮市のホームページは、4月28日よりリニューアル公開予定ですのでお知らせいたします。

多くの皆さんにご利用いただけるよう、見やすく分かりやすいホームページとしてまいりますので、もうしばらくお待ちください。

◆問い合わせ先 秘書広報課 広報広聴係
☎33-1111内線219

熊坂 洋校長は「環境が厳しい中で、生徒には不便をかけている。できることをひとつひとつやっていくしかない。ただ学ぶべき事も多い。ゆずりあいや物を大切に扱うことなどを生徒には学んでほしい」と話していました。

荒井地区公民館での授業は、本宮第二中学校の校庭に仮設校舎が完成する6月末までを予定しています。